

交渉の議事要旨

(開催日時)

平成24年 6月25日(月) 13:30~14:21(51分)

(開催場所)

室蘭開発建設部2階会議室

(出席者)

当局側(室蘭開発建設部)

藤田 望(室蘭開発建設部次長)、木村 保雄(総務課長)

職員団体側(全北海道開発局労働組合室蘭支部)

島 一雄(執行委員長)、小坂 英人(副執行委員長)、小山内 健(書記長)

中野 久嗣(執行委員)、橋場 浩一(執行委員)、阿部 浩一(執行委員)

(議題)

- 1 当部職員の健康安全管理について
- 2 当部本部庁舎の職場環境の改善について

(要旨)

【議題1：当部職員の健康安全管理について】

(職員団体) 自操運転を命ずる際、安全管理上どのような点に留意しているのか。

(当局) 自操運転については、運転者の健康状態、前日の超過勤務時間、呼気中のアルコール濃度、道路情報、気象情報の確認のほか、行程が長距離に及ぶ場合は、翌日の業務の都合等に応じて宿泊を命ずる、交代で運転を行わせる等、職員の安全確保に十分留意しながら命じているところである。

(職員団体) 冬季における自操運転について不安に感じている職員も多いことから、命令に当たっては、安全管理に特に留意するよう求める。

(当局) 冬季の自操運転に関しては、特に道路情報や気象状況について、十分状況を確認した上で運転を命ずるよう、引き続き、課所長を指導していきたい。

【議題2：当部本部庁舎の職場環境の改善について】

(職員団体) 本部庁舎の室温管理について、いまだ特定の課所から夏は暑く冬は寒いとの意見が上がっており、環境は改善されていないものと考えている。当局の一層の努力を求める。

(当局) 本部庁舎の空調システムについては平成21年度に改修工事を行い、庁舎内の温度差について解消を図ったところである。

室温については、省エネルギーを進める観点から、冷房中の室温28度又は暖房中の温度19度を徹底しており、クールビズ又はウォームビズ等で対応をお願いしたい。また、勤務時間終了後の冷房・暖房については、気温や職員の勤務状況等を勘案しながら、必要に応じて運用していく考えである。

(職員団体) 書類の保管場所について、書類保管スペースが限られている中にある場合は、文書整理をしっかりと行っていく必要があるが、文書担当者のみではなく課所全体で取り組む必要があると考える。当局としてどのように認識しているのか。

(当局) 書庫については、庁舎の構造上の問題もあり増設及び移設が非常に困難な状況にあるため、現存の文書について整理を行い、保管スペースの確保に努めるよう課所長に対して指導していきたい。

※文責は室蘭開発建設部当局(今後修正等があり得る。)